

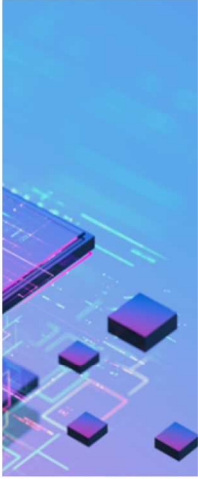


株式会社 アルバック

2025年6月期 第1四半期
決算説明資料

2024年7月～2024年9月

2024年11月11日



将来見通し等に関する記述についての注意事項

■ 将来見通しについて

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

■ 数字の処理について

本資料に記載の数字・比率につきましては、単位未満四捨五入で処理しております。

■ 品目名称変更について

2024年6月期第4四半期より、FPD製造装置の名称をディスプレイ・エネルギー関連製造装置に変更しております。

■ 1Q受注高は前年同期で減少も、売上高・各利益項目は前年同期を大きく上回る

- 利益率も前年同期で大きく改善
 - ・ 売上総利益率：31.3% (*27.7%)
 - ・ 営業利益率：9.4% (*5.1%) (*前年同期)

■ 1Q着地は概ね計画どおり、2025年6月期の連結業績予想に変更なし

- 1Q売上高・各利益項目は計画通り
- 受注高は2Qに大型案件（OLED）受注で増加、下期にかけて半導体投資回復、先端パッケージングビジネス活発化等により年間計画に変更なし
- 売上高・各利益項目は下期にかけて着実な改善を見込む

■ サマリー

当1Qは、受注高は前年同期より減少しましたが、売上高・各利益項目は前年同期を大きく上回りました。利益率につきましても、売上総利益率は31.3%、営業利益率は9.4%と、カッコ内の前年同期から大きく改善しております。

1Qの売上高・各利益項目は、概ね計画通りで着地しました。受注高は、2Qに大型案件（OLED）受注で増加を見込んでおり、また、下期にかけて半導体投資回復および先端パッケージングビジネスの活発化等も期待されることから、年間計画に変更はございません。

売上高・各利益項目につきましても、下期にかけて着実な改善を見込んでおり、当1Qの結果および今後の見通しを踏まえ、通期の業績予想に変更はございません。

2025年6月期 1Q決算概要

- ▶ 大型案件（OLED）を2Qに見込んだことで受注高は前年同期比・前4Q比で減少も、高水準の受注残高寄与等により、大幅な増収増益を達成
 →売上総利益率は**31.3%**となり、前年同期比・前4Q比ともに着実な改善が進む

【単位：億円】	2024/6期				2025/6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	
						増減額	増減率
受注高	780	561	556	685	509	-271	-34.7%
売上高	550	652	650	759	610	+60	+10.9%
売上総利益	153	201	220	233	191	+39	+25.3%
率	27.7%	30.8%	33.8%	30.7%	31.3%	+3.6pt	-
販管費	124	126	119	139	134	+9	+7.5%
営業利益	28	75	101	94	58	+29	+103.7%
率	5.1%	11.5%	15.5%	12.3%	9.4%	+4.3pt	-
経常利益	29	81	95	93	69	+40	+135.2%
率	5.3%	12.4%	14.6%	12.3%	11.3%	+6.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	57	64	69	37	+26	+228.8%
率	2.1%	8.8%	9.9%	9.1%	6.1%	+4.1pt	-

■ 1Q決算概要

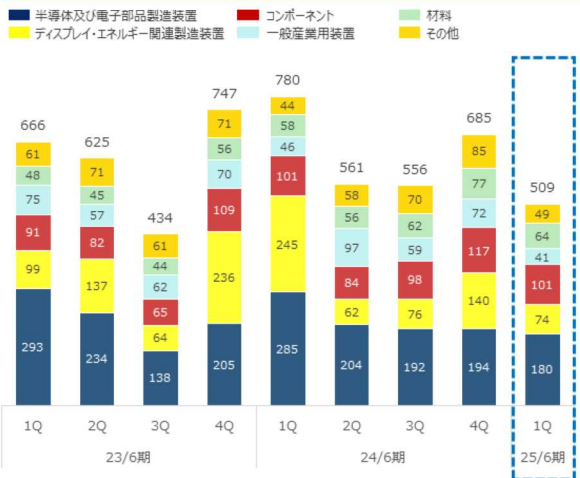
大型案件（OLED）を2Qに見込んだことで受注高は前年同期比・前4Q比で減少しておりますが、高水準の受注残高が寄与したことなどにより、大幅な増収増益を達成しております。

また、利益面においても、売上総利益率は 31.3% となり、前年同期比・前4Q比ともに着実な改善が進んでおります。

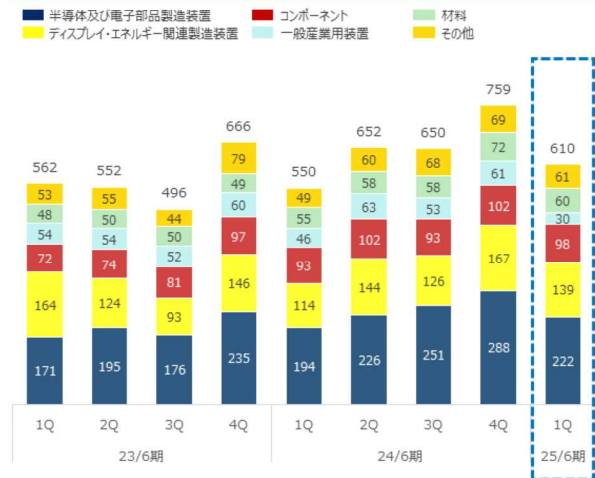
受注高・売上高

- 受注高：パワーデバイス・バッテリー等の反動減もあり、前年同期比で減少
→2Q以降はOLED投資本格化、半導体関連投資回復等により受注増加を見込む
- 売上高：前4Qへの前倒し計上で前4Q比減少も、高水準の受注残高寄与等により、前年同期比60億円の増加

受注高 [単位：億円]



売上高 [単位：億円]



Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

■ 受注高・売上高

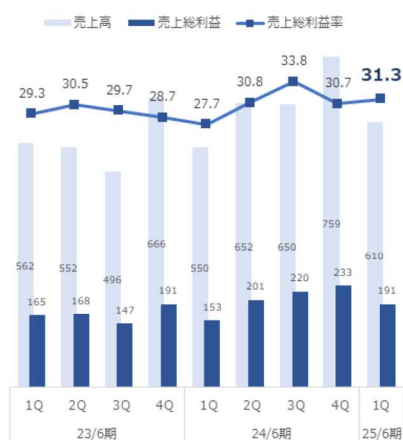
左の棒グラフの受注高は、前年同期で主に青色の半導体電子におけるパワーデバイス、黄色のディスプレイ・エネルギーにおけるバッテリーの反動減が大きく、前年同期比で減少し509億円となりました。2Q以降は、OLED投資の本格化や半導体関連投資の回復等によって、受注増加を見込んでおります。

右の棒グラフの売上高は、前4Qへの前倒し計上の影響もあり、前4Q比では149億円の減少となりましたが、高水準の受注残高の寄与等によって、前年同期比では60億円増加し、610億円となりました。

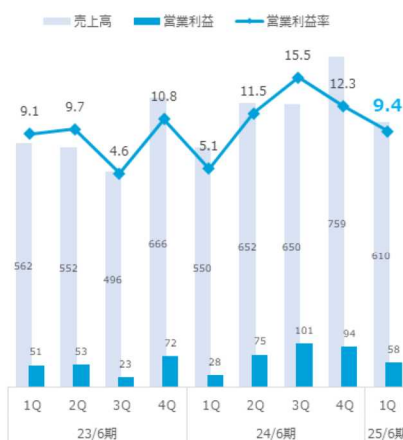
利益率推移

- » 売上総利益率：利益率の高い半導体電子・コンポーネントの売上高構成比は50%超を継続し、利益率のベースは着実に上昇しており、前年同期比・前4Q比ともにマージン改善が進む
- » 営業利益率：前年同期比改善も、前4Q比では売上高減少に加え、研究開発投資継続により低下→2Q以降の改善を見込む

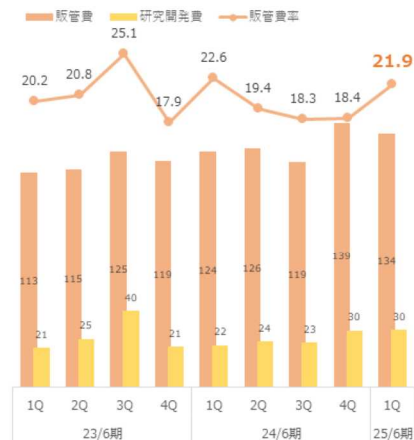
売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】



販管費率 【単位：億円、%】



Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

5

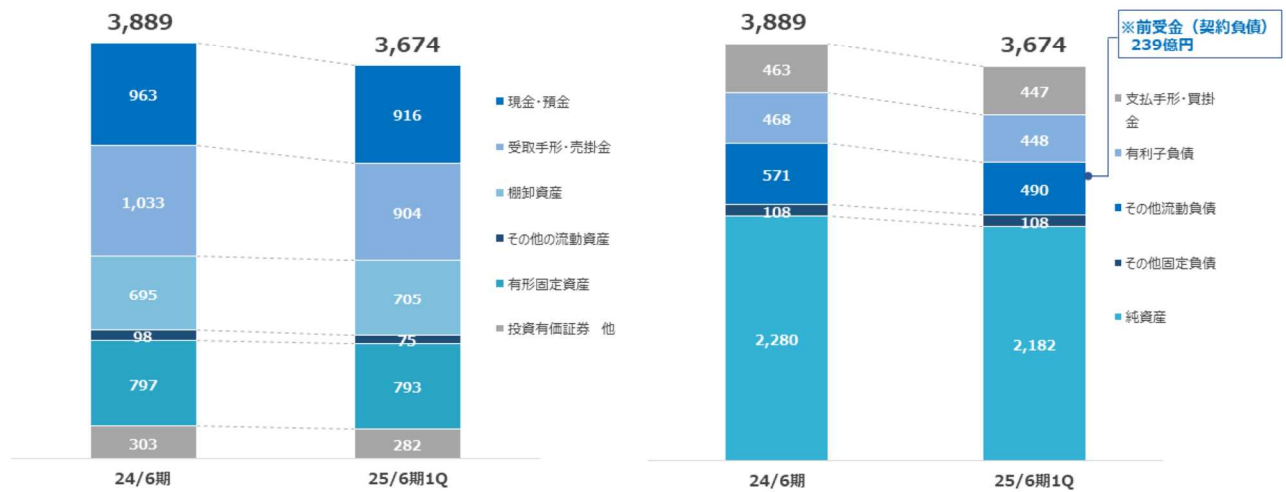
■ 利益率推移

左の売上総利益率は31.3%と前年同期比で3.6ポイント改善しております。利益率の高い半導体電子・コンポーネントの売上高構成比が50%超を継続し、利益率のベースは着実に上昇しており、前年同期比・前4Q比ともにマージンの改善が着実に進んでおります。

真ん中の営業利益率は、前年同期比で4.3ポイント改善し9.4%となりました。一方、前4Q比で見ると売上高の減少に加え、研究開発投資継続によって2.9ポイント低下しております。2Q以降は売上高増加等により、段階的な改善を見込んでおります。

資産 【単位：億円】

負債・純資産 【単位：億円】



Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

■ 貸借対照表

総資産は前期末より215億円減少し、3,674億円となりました。
これは主に売上債権の回収により受取手形・売掛金が、129億円減少したことによるものです。

- » 受注高：OLED投資本格化、半導体投資回復、先端パッケージングビジネス活発化等により年間計画に変更なし
- » 売上高・各利益（率）：下期にかけて着実な改善を見込んでおり、年間計画に変更なく**業績予想は据え置き**

【単位：億円】	24/6期	25/6期 予想			
	実績	1Q実績	通期	前年同期比	
				増減額	増減率
受注高	2,582	509	2,700	+118	+5%
売上高	2,611	610	2,750	+139	+5%
営業利益	298	58	345	+47	+16%
率	11.4%	9.4%	12.5%	+1.1pt	-
経常利益	298	69	350	+52	+18%
率	11.4%	11.3%	12.7%	+1.3pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	202	37	230	+28	+14%
率	7.7%	6.1%	8.4%	+0.6pt	-
1株あたり配当金（円）	144		164	+20	

Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved







7

■ 25年6月期業績予想

受注高は、OLED投資の本格化、半導体投資の回復や先端パッケージングビジネス活発化等により年間計画に変更ありません。

売上高・各利益（率）につきましては、下期にかけて着実な改善を見込んでいることから、こちらも年間計画に変更なく、業績予想を据え置いております。

- ▶ 2Q受注は大型案件（OLED）を予定しており、1Q比受注増加を見込む
- ▶ 生成AI需要拡大による半導体投資（DRAM中心）、先端パッケージングビジネスが下期にかけて活発化

品目	市場環境・投資動向	
メモリ・ロジック	<ul style="list-style-type: none"> DRAM投資は生成AI需要拡大により下期にかけて回復見込み NANDは在庫調整が進展し投資再開 先端ロジックも投資回復基調 	
各種電子デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI需要拡大により先端パッケージングビジネス活発化 技術革新・増産投資継続 	
パワーデバイス	<ul style="list-style-type: none"> 中長期成長を見込むもEV需要鈍化により投資減速 	
ディスプレイ・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ITパネル用OLED（G8.7）2Q受注予定で増加見込み 	
	<ul style="list-style-type: none"> EV市場鈍化で次世代バッテリーの車載への採用タイミングが遅延傾向 	
コンポーネント・一般産業・ マテリアル・その他	<ul style="list-style-type: none"> 半導体関連投資の回復等で安定基盤ビジネスとして堅調に推移 	

Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

8

■ 2Q以降の市場環境・投資動向

まず、2Qの受注動向としては、100億円程度のOLED大型案件を予定しておりますので、1Q比で大きく増加すると見込んでおります。

バッテリー関連投資が遅延傾向にあることから、これらの投資が当初想定よりもずれ込んでいますが、半導体の投資回復や先端パッケージングビジネス活発化などにより、下期にかけて受注が増加すると見込んでいます。

では、品目ごとの投資動向についてご説明いたします。

- メモリ・ロジックでは、繰り返しとなりますが、DRAM投資は生成AI需要拡大により下期にかけて回復を見込んでおり、NANDは在庫調整が進展し、投資が再開すると見込んでおります。
また、先端ロジック投資も回復基調の見込みです。
- 各種電子デバイスについては、特に生成AI需要拡大により先端パッケージングビジネスが活況であり、ファウンダリー向けアッシング装置は今期100億円程度の受注を見込んでいます。
その他の各種電子デバイスも技術革新・増産投資が継続すると見込んでおります。
- パワーデバイスは、中長期的には成長が見込まれますが、足下のEV需要が鈍化していることから、各社投資計画が1年程度ずれ込んでおり、27年6期以降に本格的な投資の拡大を見込んでいます。
- ディスプレイ・エネルギーは、ITパネル用OLED（G8.7）2Q受注予定で増加を見込むなど活発化しております。一方で、バッテリーは、EV市場鈍化の影響もあり、次世代バッテリーの車載への採用タイミングが遅延傾向となっており、当初想定よりも投資がずれ込んでいます。
- コンポーネントほかについては、半導体関連投資の回復等で安定基盤ビジネスとして堅調に推移すると見込んでいます。

AI
人工知能(AI) 電子部品
半導体

- 半導体 ● コンポーネント
- 電子部品 ● 材料

病院
IoT ワクチン
遠隔医療 無菌製剤

- 半導体 ● 一般産業用
- 電子部品 ● コンポーネント
- FPD ● 材料

データセンター
データセンター パワーデバイス
半導体メモリ 電子部品
ロジック半導体

- 半導体 ● コンポーネント
- 電子部品 ● 材料

電動車
電動車 高性能バッテリー
パワーデバイス 磁石
電子部品

- 半導体 ● コンポーネント
- 電子部品 ● 材料
- FPD

真空遮断器
真空遮断器 熱交換機

- 一般産業用 ● コンポーネント

風力発電
風力発電
パワーデバイス
発電用高性能磁石

- 半導体
- 電子部品
- 一般産業用
- コンポーネント
- 材料

スマートホーム
スマートホーム
半導体
電子部品
ディスプレイ

- 半導体
- 電子部品
- FPD
- コンポーネント
- 材料

フリースタイルサブリエント
フリースタイル
サブリエント

- 一般産業用
- コンポーネント

ドローン
ドローン
スマート農業
半導体
電子部品
バッテリー

- 半導体
- 電子部品
- コンポーネント
- 材料

太陽電池
太陽電池発電設備
制御用パワーデバイス

- 電子部品
- FPD
- コンポーネント
- 材料



ULVAC